

高速インターネットによる T・T (Team Teaching) の取り組み開始!



平成14年4月から全国の小学校、中学校で「総合的な学習の時間」(以降「総合の時間」)が正式に始まりました。平成15年度から高校でも開始されます。各学校ではいろいろな取り組みがこの時間に行われており、当協会では「総合の時間」に学校と協力してインターネットを活用したT・Tによる授業を行っています。

T・Tの実施状況

T・Tは学校の現場で複数の教員同士、あるいは教員と外部の者がチームを組んで学習する手法です。「総合の時間」はT・Tの手法がよく生かされる時間となっており、当協会が取り組んでいるT・Tは、学校現場とインターネットを通じてチームを組み実施する方法です。

今年度のパイロット的なT・Tの実施に当たっては、全国から5校の参加がありました。校種は小学校2校、中学校2校、高校1校で、地域的に見ると、青森県(青森明の星高等学校)、東京都(小金井市立小金井第三小学校)、大阪府(大阪狭山市立南第三小学校)、京都府(精華町立精華西中学校)、熊本県(熊本市立西原中学校)と全国に広がる企画となりました。

実施に関する詳しい内容

取り組み方法は、主にブロードバンド(高速大容量)通信を使い、学校と当協会を結んで、パソコンの画面上でテレビ電話方式で授業をするものです。当協会を入れて、10拠点と同時につながることができます。

この企画に学校側の設備として必要なものは、当協会指定の通信ソフト(価格2万円程度、月極使用料:500円)の搭載されたパソコン端末(OS:Windows98/2000/Me、CPU: Pentium II 300MHz以上、HDD:20MB以上、メモリー:128MB以上、マルチメディア:サウンドカード、接続環境:56Kモデム以上の全てのインターネット回線)のみです。接続環境については、ISDNでも可能ですが、通信ソフトの機能を円滑に活用するには、ケーブルTV、光ファイバー、ADSLが望まれます。また、通信料はアクセスポイントまでの料金なので1時間の授業を行っても、安い経費で実施できます。

実際に行った授業のようすをご紹介します。

皆さんの学校でも参加しませんか?

平成15年度高速インターネットによるT・T参加校を下記の要領で受け付けます。

募集期間:平成15年1月20日~3月28日

実施時期:平成15年4月~平成16年3月

取り組み1 大阪狭山市立南第三小学校

6年生30名を対象に、昨年10月18日、11月7日の2回、「アフガニスタンの子ども」、「モンゴルの子ども」とテーマを変えて授業を行いました。職員がパソコンに取り付けたカメラとマイクに向かって話しかけると、学校側にいる子どもの顔がパソコンに映し出され、真剣にこちらの話しを聞いているのがわかります。職員の話が終わるやいなや子どもたちから質問が出てくるといふ、リアルタイムで対応できる取り組みの良さを出すことができ、子どもたちにはとても面白いと感じられる内容となりました。



取り組み2 熊本市立西原中学校



3年生20名を対象に11月1日、12日、22日の3回にわたって授業を行いました。学校側ではパソコンの画面をプロジェクターでつなぎ、スクリーンに大きく写して生徒が全員画面を見られるようにしました。当協会ではパソコンにスピーカーをつけて、学校側からの声を聞きとりやすくし、学校では生徒が質問しやすいようにマイクを1本パソコンとつなぎました。

授業は、班に分かれた子どもたちが、「たとえば「フィリピンのようす」、「インドネシアのようす」に関して調べた内容を発表し、調べ学習の中でわからなかった点について質問をする形式で行いました。リアルタイムの授業は非常に緊張感があり、質問をする生徒もマイクの前にいるためか、少し緊張しているようすでした。生徒からの感想を聞かせてもらいましたが、外部とつないで「ライブ」でやりとりするのは直接答えてもらえる満足感と新しい方法に取り組む充実感があり、楽しいとの感想でした。

対象校種:小学校、中学校、高等学校

企画書の提出: 学校側で取り組みたい課題、授業回数等を明記された企画案・学習指導案を提出して下さい。

お問い合わせ 学校事業部T・T係へ ☎ 03-5789-2014